

# 上尾市かわまちづくり計画概要

1. かわまちづくりとは .....	1
2. かわまちづくり計画の対象地区（平方地区） .....	2
3. 平方地区でかわまちづくりを行う理由 .....	4
4. 平方地区かわまちづくりの考え方 .....	5
5. 堤防整備後の利活用（案） .....	6
6. 整備計画（案） .....	7
7. 役割分担等 .....	9
資料編 .....	10

## 1. かわまちづくりとは

「かわまちづくり」とは、『” **河川空間**” と” **まち空間**” が融合した、良好な空間形成を目指す取り組み』のことです。



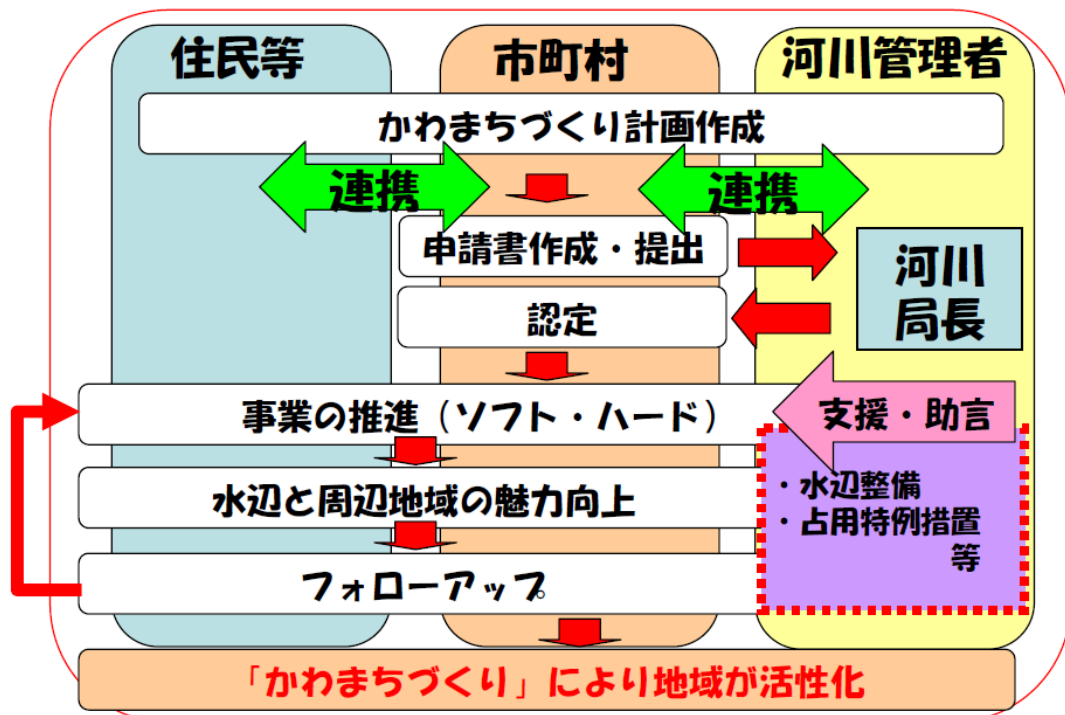
フットパス（歩くことをたのしむ道）により、  
河川とまちを連携（山形県長井市／最上川）



水辺のオープンカフェと飲食店の出店  
（信濃川/新潟市）

○かわまちづくり支援制度では、次のような計画を支援し、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ります。

- ①地域の創意としての「知恵」を活かした計画
- ②利活用方策が地域において明確となっているもの
- ③施設の維持管理に地域の協力が得られるもの



## 2. かわまちづくり計画の対象地区（平方地区）

平方は上尾市南部、主に大宮台地上に位置する地域であり、地域の西側に荒川が流れています。

かつては、船着場である「平方河岸」と江戸が舟で結ばれ、昭和初期まで大きく繁栄していました。

現在、あげお花火大会には多くの方々が訪れています。また、荒川・入間川沿いのサイクリングロードを利用するサイクリストが地区内を散走する姿も見られます。

八枝神社祇園祭での「どろいんきょ」は、埼玉県や上尾市の無形民俗文化財に指定されています。



図 上尾市平方地区の位置

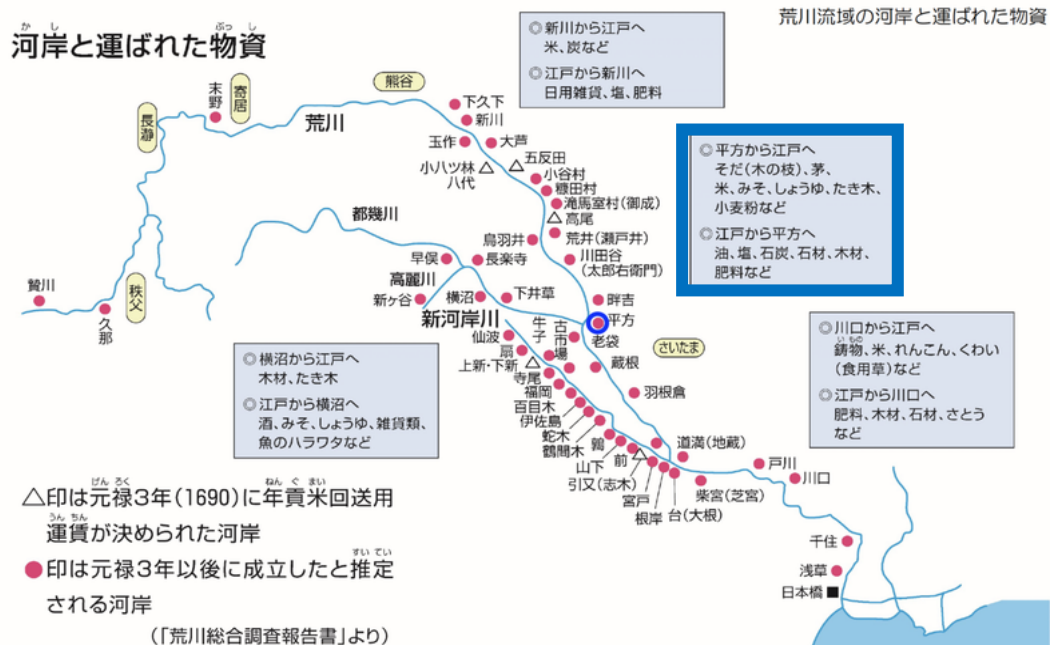
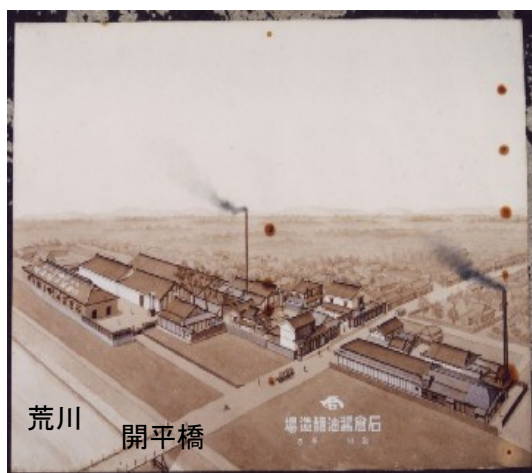


図 荒川沿いの河岸（船着場）



資料：上尾市教育委員会（平方村石倉家文書）Web サイト  
図 平方地区の酒造・醤油・味噌の醸造工場



資料：上尾市「平方上宿の祇園祭 どろいんきょ」  
図 どろいんきょの様子



図 埼玉県が設定しているサイクリングコース



図 上尾市が設定しているサイクリングコース



### 3. 平方地区でかわまちづくりを行う理由

平方地区は無堤防区間であり、令和元年東日本台風による洪水で38戸が浸水する被害が生じました。

現在、早期の浸水被害解消を目的として、本堤防に先行して、用地買収を要しない川岸の国有地で整備可能な小堤を整備しています。

本堤防整備に際し、地域の賑わい形成や、どろいんきょや花火大会等の従来の利活用の継続を目的にかわまちづくりを進めることとなりました。

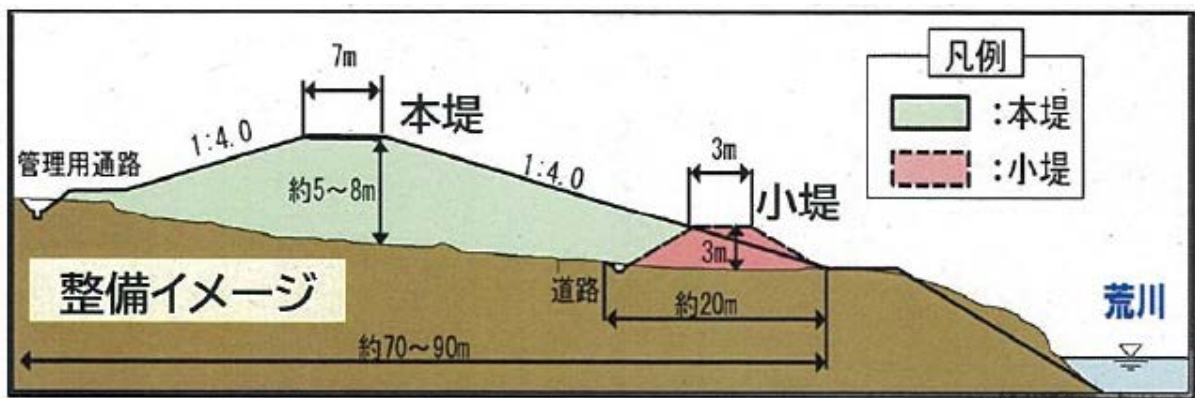


図 小堤・本堤の整備イメージ

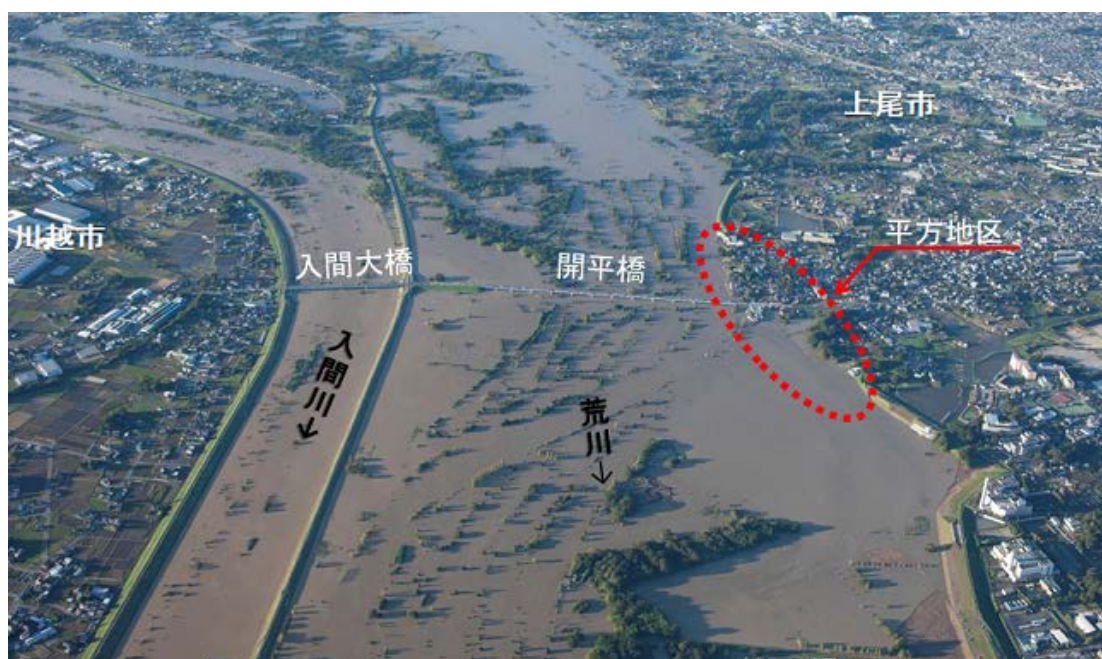
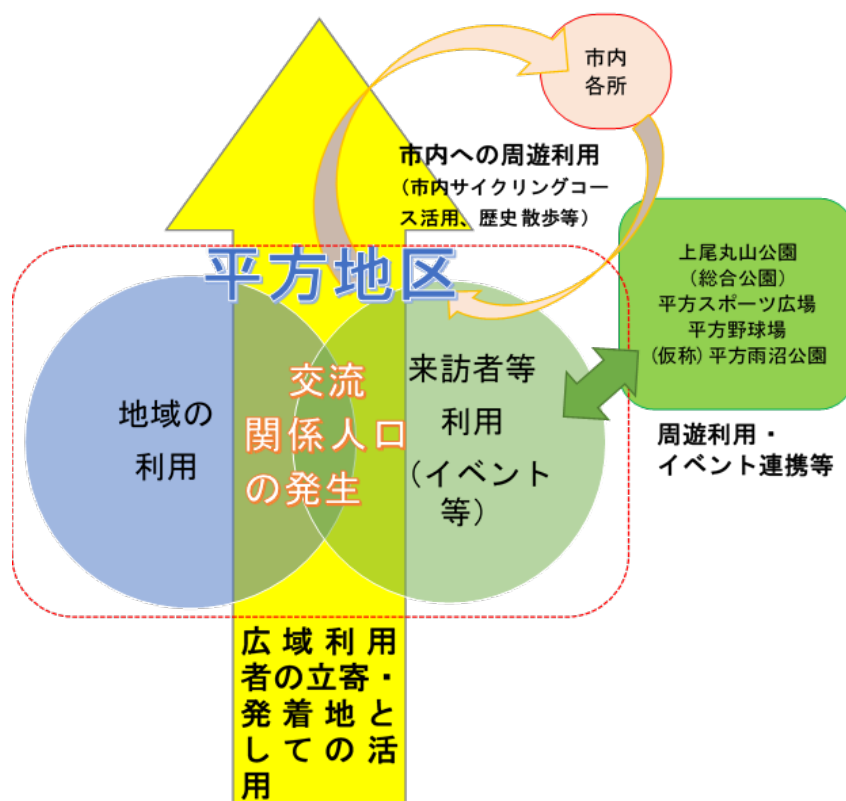


図 令和元年10月13日 台風19号出水状況

## 4. 平方地区かわまちづくりの考え方

地域の安全・安心に寄与すること（方針１）を前提に、地域の方々の日常的な利用（方針２）と来訪者の利用を通じて、新たな交流が生まれることにより地域活性化を目指します（方針３）。

さらに、サイクリング等広域的な利用者の立寄や発着地として活用していきます。（方針４）



方針１ 地域の安全・安心に寄与する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防整備による地域の安全・安心</li> <li>・消防活動等、地域の防災活動に資する場</li> </ul>
方針２ 地域の情報発信拠点とする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平方地区は舟運（河岸）で栄えた地であり、八枝神社・祇園祭で行われるどろいんきょ等、地域の歴史の伝承の場としての利用を図る。</li> </ul>
方針３ 地域内の交流・地域外との交流を通じ、地域活性化を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防整備において、側帯を整備することにより、交流の場として活用を図る。天端・側帯は、①地域の方々の日常的な散策・交流の場、イベント、屋外レクリエーション活動、水際の親水利用等を通じて、地域居住者以外の来訪者の来訪を促し、地域との交流等を通じて、地域活性化を図る。</li> </ul>
方針４ 広域的な利用の立寄・発着地として活用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリング利用の立ち寄り拠点化・まちなか「散走」への誘導、歴史をテーマとした散策利用、上尾丸山公園（総合公園）との連携を通じて、市内各所と連携した広域的な利用を図る。</li> </ul>

## 5. 堤防整備後の利活用（案）

堤防整備後の利活用は、①地域の利用、②来訪者等の利用（イベント等）、③広域利用者の立寄・発着地としての活用の3つの視点から検討しています。

表 堤防整備後の利活用案（これまでの議論のまとめ）

方向性	利活用	具体的な利用方法の案
地域の利用	①地域の歴史の伝承と地域の憩いの場としての利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の歴史の伝承の場としての利用（平方河岸や地域の発展史、旧街並み、築堤前の地域の状況等＝歴史広場・看板設置、屋外レクチャー等）</li> <li>・どろいんきょの「ころがし」や「川入り」等の利用</li> <li>・周辺住民が川を見ながら集い・憩う（場づくり）</li> </ul>
	②防災活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防訓練</li> <li>・市民らによる防災訓練・防災体験</li> </ul>
来訪者等の利用（イベント等）	③イベントの展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あげお花火大会の観覧利用</li> <li>・地域の人が集う地域イベント（「市」、農産物直売等）の開催</li> <li>・集客イベントの展開</li> </ul>
	④屋外レクリエーション活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間の暗さを活かした天体観測や焚火等、アウトドア活動（上尾丸山公園天文台の協力連携等）</li> </ul>
	⑤親水利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺への近づき</li> <li>・水上レクリエーション（カヌー等）</li> </ul>
広域利用者の立寄・発着地としての活用	⑥サイクリング利用（立ち寄り拠点化・まちなか「散走」への誘導）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリング利用者の立ち寄り利用の促進（休息、飲食、メンテナンス）（立ち寄り利用による交流・地域活性化や、自転車減速による散策者の安全確保）</li> <li>・市のサイクリングコース等を活用したまちなか「散走」への誘導</li> <li>・自転車を活用した市内の歴史地点（寺社仏閣・史跡等）や街道等を巡る「散走」への誘導</li> </ul>
	⑦歴史をテーマとした散策利用（広域連携利用）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の歴史（河岸、寺社、地域銀行や工場跡地等）を巡る歴史散歩</li> <li>・中山道や伝鎌倉街道等の街道筋をたどる広域歴史散歩・散走</li> </ul>
	⑧上尾丸山公園（総合公園）との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防天端等を活用した散策・自転車ネットワーク利用</li> <li>・自然学習館、天文台等職員と連携した荒川の自然観察会</li> </ul>



## 6. 整備計画（案）

堤防整備に伴い、側帯を整備。側帯上の広場で、地域の方々や来訪者の散策の場や、休息・語らいの場となる、あずまや・広場等を整備。

イベントやサイクリスト等の立寄拠点

（サイクルステーション・トイレ・仮設店舗等）を整備。

堤防坂路や階段の整備により、親水利用や消防訓練等の防災活動の場として活用。

花火大会の観覧席や市民らの休息場として、階段護岸を整備。

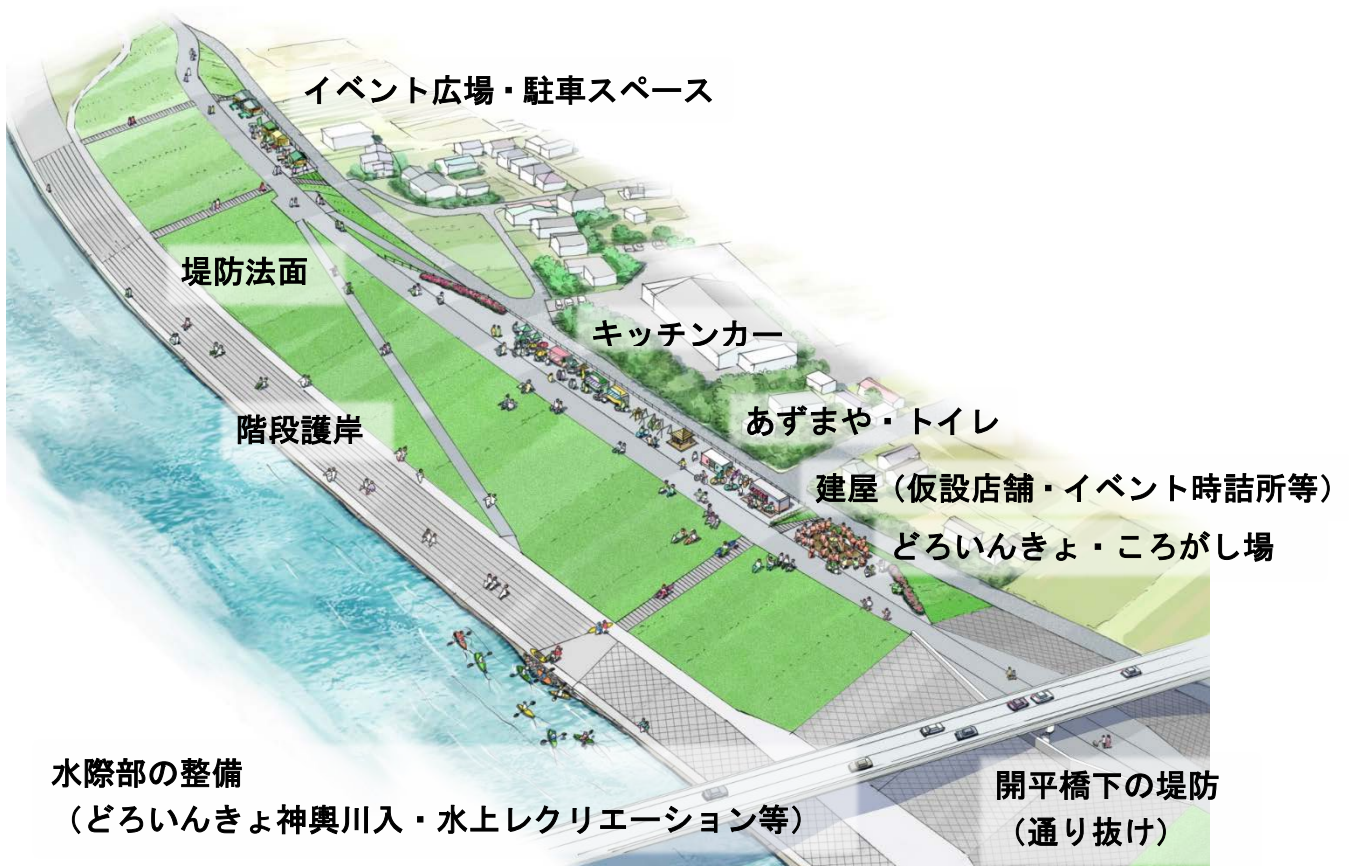


図 これまでの議論をまとめた整備計画（案）

※上記イメージパースは、今までの意見をベースに作成したもので、  
実際の整備内容とは異なります。



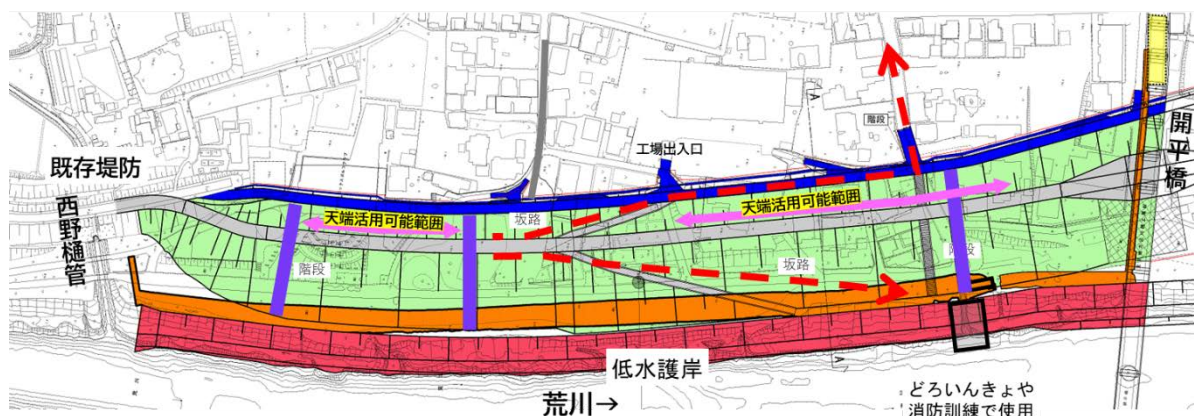


図 平面計画図

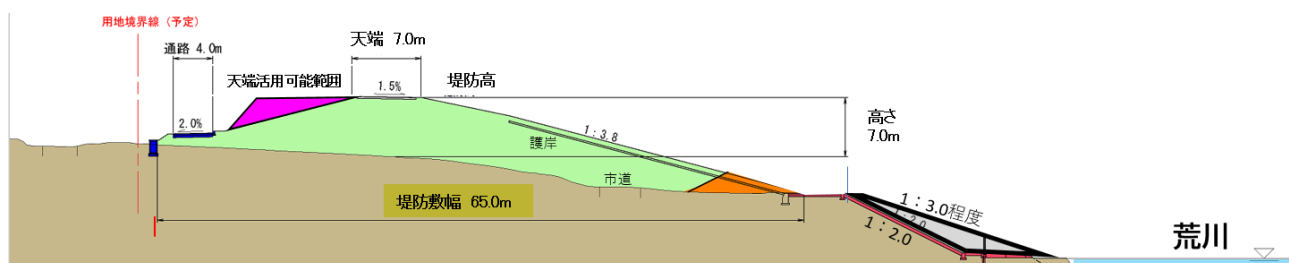


図 断面計画図

#### ○坂路・階段について

- ・坂路は高齢者等の利用を考慮して5%勾配とし高さ1.5m毎に平場を設ける。
- ・どろいんきょや消防訓練に対応するため、下流側階段付近の低水護岸部には、3割勾配程度の坂路(幅5m)を設ける。
- ・階段は3箇所設置するが、低水護岸部はどろいんきょ対応の坂路を設けたり、それ以外の護岸部は、階段形状で水際まで下りることが出来るため、堤防部のみの設置とする。

資料：第3回 上尾市かわまちづくり勉強会資料

## 7. 役割分担等

堤防等基盤整備は、国土交通省にて行います。

あずまや・トイレ等の環境整備は、上尾市が整備します。

	上尾市（観光協会・商工会等含む）	国土交通省
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どろいんきょ・花火大会等の従来の行催事の継続的实施</li> <li>・キッチンカー展開や屋外レクリエーション等のイベント開催支援</li> <li>・大学との連携による地域活性化方策</li> <li>・地域の情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市・地域再生等利用区域指定支援（事業運営上の必要性に応じて実施）</li> </ul>
ハード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休息・休憩に供する施設施設（あずまや・サイクルステーション、ベンチ、トイレ）</li> <li>・イベント等地域活性化に資する施設の整備（建屋、イベント・キッチンカー等が展開できる広場）</li> <li>・地域の情報発信に関する施設（看板、誘導表示）</li> <li>・地域文化の伝承に関する施設（どろいんきょ・転がし場）</li> <li>・防災に関する整備（防災倉庫、シェルター等）</li> </ul>	（堤防整備に伴う付帯施設整備） <ul style="list-style-type: none"> <li>・側帯</li> <li>・堤防部の坂路・階段</li> <li>・親水護岸・階段護岸</li> </ul>

## これまでの検討経緯

- ・令和4年度に「上尾市かわまちづくり勉強会」を計4回開催しました。
- ・令和5年度は「上尾市かわまちづくり協議会」を設置し、令和5年度に計4回開催する予定です。

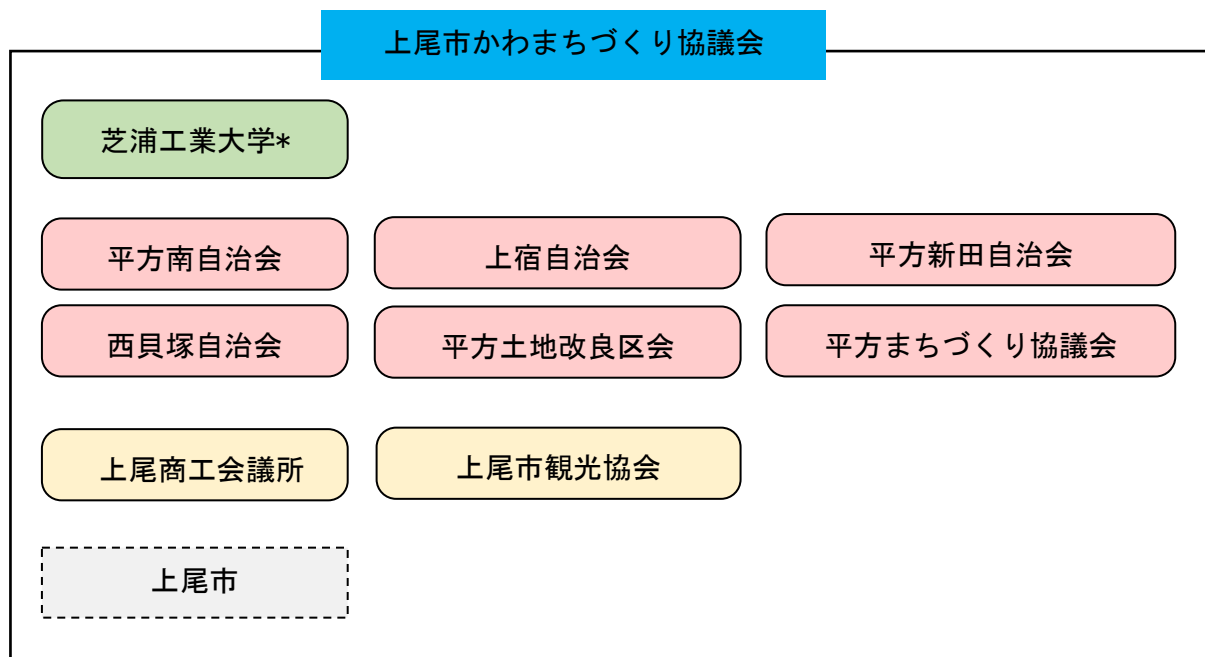
開催日	協議概要	概要
令和4年 8月25日(木)・ 26日(金)	平方地区かわまちづくり 勉強会(第1回)	1. かわまちづくりとは 2. 意見交換
令和4年 10月27日(木)	第2回上尾市かわまちづ くり勉強会	1. かわまちづくりとは 2. 今年度の進め方 3. 意見交換
令和5年 1月18日(水)	第3回上尾市かわまちづ くり勉強会	1. これまでの経緯について 2. 荒川堤防のコンセプトについて 3. 堤防の坂路及び昇降階段について
令和5年 3月14日(火)	第4回上尾市かわまちづ くり勉強会	1. これまでの意見を踏まえた堤防の利活用案 2. 上尾市かわまちづくり協議会の設置及び次年度検討スケジュール
令和5年 5月11日(木)	第1回上尾市かわまちづ くり協議会	1. かわまちづくりに関するこれまでの経緯 2. 堤防の利活用について 3. 今後の取り組みについて
令和5年 7月20日(木)	第2回上尾市かわまちづ くり協議会	1. 上尾市かわまちづくり計画の概要について 2. 堤防の利活用について

【参考】 令和4年7月8日には、地域の方々により「水辺で乾杯」\*を実施

\* 国土交通省をはじめとする官民学で構成されたミズベリング・プロジェクトが2015年から始めた取組です。毎年7月7日午後7時7分に水辺で全国一斉に乾杯することを呼びかけています。



## 上尾市かわまちづくり協議会の構成



\*上尾市と芝浦工業大学は、包括連携協定を締結。大学はサテライトラボ上尾を運営。

## 上尾市の行政計画における平方地区の位置づけ

第6次上尾市総合計画  
(2021年3月)

- ・平方地区の位置づけ
  - ①「地域拠点」\*の位置づけ
  - ②土地利用は、「田園保全・活用ゾーン」

上尾市都市計画  
マスタープラン2020  
(2021年3月)

- ・地区別構想における将来像  
「豊かな自然と歴史のある 暮らしやすいまち 平方」

第2次  
上尾市緑の基本計画  
(2021年3月)

- ・平方地域の緑の取組み
  - ①上尾丸山公園を中心とした緑の人づくり
  - ②豊かな緑・水辺環境の保全
  - ③伝統的な農村景観の継承